

グリーン久万郷 グリーン仁淀川

久万高原産廃処分場を止める会
 代表 大野隆則 0892-21-0504
 事務局 鷲野宏 080-6382-8896
 編集長 古田隆 090-4794-1041
 会計 久万川重広 090-6282-8291
 HP <http://stop-kumakogensanpai.info>
 Mail info@stop-kumakogensanpai.info

久万郷と仁淀流域の自然と人間の難局に立ち向かおう

組織・地域を網羅した産廃処分場を止める会 正式スタート

産廃処分場を東明神へ作ろうという計画が明るみに出て3ヶ月になるうとしています。みんなので知恵を出し合い、力を合わせて絶対反対の意思表示を行い、企業の計画を一時阻止することには成功しました。しかし、企業側は、数千億円と言われる利益を簡単に諦めるとは考えられません。



代表挨拶
 まず大野隆則代表が次のような開会挨拶を述べました。

久万高原町産業廃棄物処分場設置を止める会（産廃処分場を止める会）の結成大会は、去る8月17日、産業文化会館で開催され、約250人の参加を得て、予定の協議案を原案通り承認して、会は正式に発足いたしました。

私たちは、久万郷を挙げて、仁淀川流域40万人の総力を結集して断固反対の姿勢を示し続け、企業が計画を完全に断念するまで闘い続けなければなりません。私たちは、今日ここに、15団体、13地域、多くの個人を結集して、強大な運動のトリデを作ることになりました。



本会の力強い活動維持のために次の鉄則を守り抜きましょう。
 ① 政党・政派に属さず支配も受けな
 い。② 誰に対して
 も支持・不支持の
 表明を強制しない。
 ③ 会の規約を認め
 る人は誰でも入会
 できる。（中略）
 本日結成した連絡協議会が最高の機能を発揮して、子孫に胸を張って貴重な自然・資産をバトンタッチできるよう頑張ろうではありませんか。



次に、川本副代表から、規約案、役員案が提案され、承認を得ました。

規約・役員承認

承認された役員

- 代表 大野隆則
- 副代表 川本博文
- 事務局 鷲野宏
- 会計 久万川重広
- 編集長 古田隆
- 調査 山之内敏秋
- 監事 高木延一郎

（山之内敏秋の役割を広報から調査に変更し、調査研究を主たるものとします。）



この後、面河漁協三本組合長から、大宝採石小倉社長から採石場更新の同意要請を断つたが、松山地裁から調停に応じるよう招請を受けているとの特別報告がありました。

調査・研究の必要

一般質疑では、現在すでに産廃処分が行われているのではありませんかというわさがあるのが調査されているのか、高知県中土佐町の産廃処分場を大野開発が計画、町が認め、県が認

広報紙の発行
 広報紙「グリーン久万郷クリーン仁淀川」を発行します。活動の情報紙として季刊ですが必要に応じて増刊します。「グリンクリン」と呼んで。

人ひとり、家庭で、地域で、職場で、頑張り、自然と暮らしを守っていきましようとの閉会挨拶を行いました。



副代表に、川崎「止める会」正式発足を土台に、一

は、県が敗訴している例等事例研究の必要性があると発言がありました。



めなかつた裁判で

今からが正念場 設置断念まで結束を強めて 趣意書を配り、確かな納得で会員拡大を

産廃処分場を止める会趣意書

私達にとって最も大切な 水と空気を守るため

産業廃棄物処分場設置阻止にご協力ください！

久万高原町東明神の採石場跡地に、産業廃棄物の最終処分場を設置する計画があります。この処分場は、燃え殻、煤塵、廃石綿、汚泥や腐敗性があり地下水を汚染する恐れのある産業廃棄物を埋め立てることができる管理型の最終処分場です。

管理型最終処分場には、埋立地からの浸出液による公共の水域及び地下水の汚染を防止するための遮水工（ゴムや樹脂製の遮水シート）を設け、内部に溜まった水を浸出液処理施設で浄化して放流するなどの処理が必要とされています。

東明神に設置される処分場の計画では、容量は約100万㎡で、安山岩の岩盤に採石によりできた深さ約60mの穴を使い、約30年間で埋める計画だそうです。

この計画を知った私達は、処分場設置に反対する住民の会を町内に発足し、町と県に対し、設置に同意、許可しないよう要望書を提出し、環境科学・地質学が専門の関口鉄夫先生に現地を見ていただき、学習会を開催し、その結果様々な多くの問題点があることが判明しました。その主なものは以下のとおりです。

- ①東明神の処分場予定地は、処分場を作ってはいけない場所とされる水源地・岩盤にひび割れがある土地・厚い粘土層がない土地という3つの条件に全て当てはまること
- ②埋立予定地の岩盤に亀裂があること、深さ60mの穴の底と急斜面に5層の遮水シートを設置することが技術的に可能であっても、何百枚もつなぎ合わせた遮水シートのつなぎ目の断裂や破損を防ぎ、遮水機能を保持することは不可能であること
- ③埋め立てた廃棄物の下の部分の遮水シートが経年劣化や岩盤の変化により損傷した場合、補修が困難なこと（多額の経費を要するので、事業者はできてもしない）
- ④ゴミを埋める時や風の強い日に大量の粉塵が舞い上がり、遠くまで飛散すること
- ⑤飛散する粉塵には、焼却灰・飛灰（ダイオキシソ類、重金属類）、アスベストが多く含まれており、灰は数キロ～数十キロ先まで漂い、アスベストはもっと遠くまで飛ぶこと
- ⑥埋め立てられた有機物が分解するとき、有毒ガスが発生し空気を汚染し続けること
- ⑦ゴミを埋めた処分場は、最低でも350～700年間は有害物質を発生し続けるといわれていること

このような問題と併せて、懸念するのは、計画の概要が明らかにされていないことから、中間処理施設も設置されるのではないかとということ、設置される可能性が極めて高いということです。中間処理施設ができ、三坂峠でゴミを燃やし続けるとどうなるか、ダイオキシソの生成装置ともいわれる焼却炉が稼働すれば、久万高原町や仁淀川流域の高知県内6市町村への影響だけでなく、砥部町や内子町、東温市、松山市にも大気汚染による健康被害や農林産物への汚染という影響が必ず出ます。

事業者は計画を断念していません。処分場設置計画は、現在もまだ続いています。私達は、私達にとって最も大切な水と空気を守るため、産廃処分場を止める会を結成し、処分場設置に反対する町内外の皆さんと一体となって行動を展開し、設置計画の阻止を目指します。一人でも多くの方が是非ご加入くださいますようお願い申し上げます。

久万高原町産業廃棄物処分場設置を止める連絡協議会 代表 大野 隆 則

役員会の方針

役員会は、9月2日に開き、当面の活動について次のことがらを協議しました。

①町長・町議会・農業委員会との連携について
会の独立性を持ちながら、強い連携を構築する。

②会員拡大の進め方について
近々理事会を開き、具体策を提案、議決に基づいて拡大を図る。

当面、右の趣意書を配り、話し合いをしながら理解を深めてもらい入会していただくように進める。強制するものではない。

③会報の発行について
紙名を「グリーン久万郷クリーン仁淀川」とし、A4横使い縦書き2面のモノクロ印刷で発行する。

④講演会・勉強会について

町・教委の主催にできないか交渉する。

⑤条例作りについて
まず町に打診する。

⑥事務局体制の整備と理事と監事の区別について
（内容略）

高知仁淀川を守る会の活動内容

今年6月1日に発足した高知県の「仁淀川を守る会」は、6月15日の「決

起集会」にも城下さんが参加され応援メッセージを戴きました。今回、代表生野宣宏（しよ）のたかひろさんから、活動内容の報告がありました。

①久万高原町の住民・団体と交流会を開催する。

②T0社に処分場の予定地の環境向上の提案を続ける。

③ゴミづくりをやめるための活動

④伊方原発の速やかな廃炉を求める。仁淀川は風下だ。

組織代表者(理事)

JA松山市	速水 健一
JA松山市農業生産組織	西尾道遵
久万高原農業経営者協議会	正岡 定
久万高原町連合婦人会	川崎美代子
久万高原町老人クラブ連合会	田坂正教
壮年会	未定
久万高原青年農業者連絡協議会	山之内健士
上浮穴木材製材協同組合	長田昇二
494.33元気塾	平岡新太郎
水利組合	未定
面河川漁協	三本一雄
生活改善研究協議会柳谷支部	岡田百合子
久万広域森林組合	未定
上浮穴郡仏教会	未定
久万高原町商工会	未定
青年団	未定

地区代表者(理事)

明神支部	石丸 常
入野支部	古田邦博
久万支部	上冲教一
菅生支部	未定
野尻支部	松岡良雄
畑野川支部	山内司郎
直瀬支部	大野育男
二名支部	成本 弘
露峰支部	西田満文
美川支部	高橋末広
面河支部	中川博俊
柳谷支部	羽沢清二郎
高知支部	武智 龍

個人(理事)

学識経験者	川本博文
町内賛同者	稲田 芳子